

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

2022年 ニッケグループ 社員への年頭挨拶

新年 あけましておめでとうございます。
皆様におかれましても、気持ちを新たに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、年末年始も勤務されていた皆さん、ご苦勞様でした。年頭にあたり、ニッケグループの皆様へご挨拶を申し上げます。本年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画による配信としました。



さて、私たちを取り巻く環境を見ますと、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大は、ワクチン接種の進展や生活行動の自粛から、徐々に落ち着きを見せていますが、変異株の出現など、引き続き予断を許さない状況が続いています。更に、米中の対立や半導体を始めとする原材料・部材などの不足・争奪戦など、とても不安定な経営環境が続いています。

昨年2021年度は「RN130ビジョン第2次中期経営計画」のスタートの年でした。当初計画である、売上高1070億円、営業利益86億円に対して、各利益は上振れし、当期純利益は過去最高を更新する見通しです。現在のコロナ感染に大きく影響を受けた事業もあれば、これをチャンスと捉え引き続き好調を持続・拡大している事業もあります。グループ全体での事業の多様化と各事業における創意工夫の結果、このような環境下でも耐えられる強靱なグループを構築できています。これも、皆さんのチャレンジの成果と感謝いたします。

さて、コロナ禍のなかで、一昨年は社長巡視を殆ど行うことが出来ませんでした。昨年は感染防止対策を徹底した上で、可能な限り巡視を実行しました。各事業が向き合う市場がどのように変化し、その変化にどう対応しているのか、最前線の皆さんから直接話を聞かせてもらうことが巡視の目的です。そのようななか、景気は緩やかに回復という見立てが多く、アフター・コロナをチャンスと捉えてアクションを起こそうとしていることを聞き、大変頼もしく感じました。また、現在、ニッケグループは、フジコグループや(株)ワイワイが新しく仲間となり60社を超えました。この巡視や研修の中でグループ会社の社長や幹部の今後のチャレンジングな提案を聞かせてもらうことが増え、多くの野心的な仲間が増えてきたことを大変うれしく思っています。

当社グループにとって2022年度は 第2次中期経営計画の中間点であるとともに、「RN130ビジョンへの折り返し点でもあります。ただ、市場は、新たな変異株「オミクロン株」のリスクが浮上し、委縮縮小する可能性もあります。逆に、新しいコロナ治療薬や追加のワクチン接種により感染の収束に向かうかもしれません。まったく不透明です。どうしてもそのような環境下では対処的経営になりますが、是非、足元の状況だけに縛られず、2026年度に達成したい目標、「グループの未来を背負う基幹事業の育成拡大」の目線をもって、今出来る事をしてください。お願いします。

また、これからのニューノーマル時代の企業戦略にとって「SDGs(持続可能な開発目標)」は、重要なキーワードの1つです。当社グループとしてもサステナビリティに向けた体制の整備を進めていきます。そしてそれによって持続的な企業価値の向上を目指すことも付け加えておきます。

そして今年の干支は「寅」です。寅のように力強く、事業に邁進して行きたいと思います。

では、この1年、健康にはくれぐれも留意し、元気に活躍されることを期待しています。皆さんと皆さんのご家族のご健勝とご活躍を祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。

ニッケグループ代表
ニッケ 代表取締役社長 富田 一弥

《本件に関する問い合わせ先》

ニッケ 総務法務広報室

室長 松本 義子

Tel : 06-6205-6601